さいたま市立大原中学校 学校だより
新しき光
校訓「歴史を拓く」 学校教育目標「はつらつとした生徒、地域の「一因」となる学校」

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397 FAX 048-835-1357
WEB https://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

第６号
令和８年１０月１日発行

一人ひとりがそれぞれの場面でそれぞれの「主人公」に

校長 加藤 英教

毎回の給食とともにクラスに届けられる、給食室の松﨑先生作成の”School Lunch News”によると、東京では８月２７日から９月末まで５７日間連続で雨が降り続き、これは観測史上初のことだったそうです。また、この長雨の影響で野菜の収穫量が落ち込み、価格が高騰しているとのことです。手帳を見返したところ、前回の学校だよりを作成していた１か月前には、まだ連日の厳しい暑さを心配していましたので、季節の移り変わりの早さに驚くばかりです。

今回もまず、印旛沼の堤防決壊など、特に千葉県内の各地に甚大な被害をもたらした豪雨により、亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、今なおこの夏の自然災害の被害に苦しんでおられるすべての方々に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、今日から神無月１０月です。２学期も、気が付けば始まってから１か月が過ぎ、４月の入学・進級からは半年が過ぎたことになります。行事の多い２学期を過ごす皆さんは、秋分の日を過ぎて日の入りが早くなり、辺りが暗くなるのも早くなってきたことから、１日があっという間に終わっているように感じているのではないでしょうか。

９月１５日には、作詞家の金沢智恵子先生を審査員にお迎えし、大宮レイボックホールにおいて合唱コンクールを開催しました。（金沢先生には閉会式での全体講評において、大原中学校の歌声をさらに素敵にするための発声法について御指導をいただきました。実際にステージで発声を披露された金沢先生の声は、お一人の声とは思えないほど力強く、ホール全体に美しく響き渡りました。）各クラスが選んだ全２１曲が、素晴らしいホールいっぱいに響き渡りました。一曲一曲それぞれに、今のクラスの仲間だからこそ共有できる「素敵な思い出」ができたことと思います。

私は、２１曲のハーモニーを味わうとともに、合唱に取り組む皆さん一人ひとりの姿にも注目していました。緊張した表情でステージに上がる人。笑顔で楽しそうに歌う人。大きく口を開いて歌声を響かせる人。ソロパートを堂々と歌い上げる人。クラス全員を一つにまとめる指揮者。歌声を支えるピアニスト。ステージ上には、さまざまな「主人公」の姿がありました。

そして、９月２６日からは、さいたま市新人体育大会が開催されています。特に屋外競技は長雨に悩まされながらも、各会場で熱戦が繰り広げられています。私も教頭先生と分担しながら初日から各競技会場を訪問していますが、校内で見せるいつもの姿とは違う、ユニフォームを身にまとった凛々しい皆さんの姿に何度も感動しています。大会独特の雰囲気にのまれることなく、いつもどおり基本に忠実なプレーをする人。戦いに挑む仲間へ真剣に声援を送り続ける人。苦しい場面で声を出して仲間を励ます人。得点を決めた仲間に満面の笑顔を向ける人。各会場でもまた、さまざまな「主人公」を見付けることができました。

さいたま市新人体育大会が終わると、普段の授業での努力が実を結ぶ中間テスト、仲間とともに自慢の俊足で襷をつなぐ人が輝くさいたま市駅伝競走大会、さいたま市代表として県内のライバルに挑む新人体育大会県大会、そして２３日（金）には、それぞれの種目で全力を尽くす人が輝く体育祭と続きます。今月も、皆さん一人ひとりが活躍し、「主人公」となる場面が数多く用意されています。

年度当初にお話しした「なりたい自分になる」１年とするために、それぞれの場面で「なりたい自分に近づく」努力を重ねてほしいと思います。前回に引き続き、大原中学校のすべての皆さんに期待しています。